

「第4次鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン（案）」に対するパブリックコメント実施結果

【パブリックコメント実施期間】令和7年1月14日（火）～令和7年2月13日（木）

番号	素案 該当ページ	いただいた意見の概要	意見に対する回答・考え方等	素案修正 の有無	回答 担当課
1	P. 3 (4)定住自立共生ビジョン策定の目的	倉吉市が実施している「倉吉市民ワークショップ」との関連性はあるのでしょうか。 これまでのように、それぞれが別々に進められるのでしょうか。	鳥取県中部定住自立圏は中部1市4町で圏域を構成し、ビジョンに掲げる各取組を圏域で連携して推進しています。一方、現在倉吉市が実施する「市民ワークショップ」は本市のまちづくり、総合計画に関わるものであり、強い関連性はございませんが、定住自立圏の倉吉市の取組においても、参考にできる点は活用して参りたいと考えます。	無	企画課
2	P. 4 (1)中心市と構成町について 産業構造	就業人口の比率の合計は97.5%で、100%になりません。	各市町の産業構造につきましては、令和2年国勢調査の結果を記載しております。調査に用いる産業分類上、第1次・2次・第3次産業に当てはまらない「分類不能の産業」があり、残りの2.5%がそれに当たります。	無	企画課
3	P. 4 (1)中心市と構成町について 倉吉市の魅力	「白壁土蔵群・赤瓦」の記述をバス停などの名称にあわせて「赤瓦・白壁土蔵群」としてはどうでしょうか。	いただいた御意見のとおり、「赤瓦・白壁土蔵群」と表記いたします。	有	企画課
4	P. 7 (1)目指すべき 将来像	どこが主体となって進めていくのでしょうか？	目指す圏域の将来像の実現に向けた取組は、圏域を構成する各市町が、「鳥取県中部定住自立圏」の中心市及び構成町としての役割を果たし、それぞれの主体間が連携・協力しての取組を進めて参ります。	無	企画課
5	P. 13 思春期保健対策の 推進 (1)現状と課題	人工妊娠中絶が「高く推移」と記載されています。全国平均は近隣の状況など、比較対象が無いと「高く」が実感できません。追記できないでしょうか。また、原因も追記できないでしょうか？	いただいた御意見を踏まえ、人工妊娠中絶実施率や中絶の理由について追記します。	有	子ども家庭課
6	P. 13 思春期保健対策の 推進 2. 具体的な事業	成果指数の目標は十分なのでしょうか。事業費を追加すれば、もっと少なくできるのでしょうか。	鳥取県の状況としても特に全国と比較高い状況にある若い世代の中絶率を改善するため、成果指標についてまずは県内平均値以下を目標とするとともに、これまでの取組と成果・課題を見直した上で、費用対効果等の観点からもより実効性のある取組について引き続き検討・実施していきます。	無	子ども家庭課

7	P. 17 子育て支援体制の整備 及び充実 (2)取組の方針	現状と課題に記載されている「保育士や看護師の人材不足」への対応はどこに記載されているのでしょうか？現状の人材状況でこの取組を実施できるのでしょうか。	本市単独での事業拡大は困難でしたが、市外の民間事業者が病児保育を今年開設したことに合わせて、構成市町で協議を重ね、協定の取組の外枠ではありますが、圏域全体での利用が可能となり、利用定員の増加を図りました。	無	子ども家庭課
8	P. 31 消費生活相談窓口の体制整備 (2)取組の方針	「専門相談員を確保することが困難」に対して、どの様に取り組まれるのでしょうか。 消費生活相談窓口の周知が不足していると考えており、広報活動に力を入れてはどうでしょうか。	専門相談員の確保に対する取組としましては、市町単独で専門相談員を確保することは困難であるため、圏域内1市4町で中部消費生活センターを共同設置・運営を行うことにより、専門相談員を常時複数人確保することができるようになりました。 また、消費生活相談窓口の周知につきましては、各市町ホームページでの広報に加えて、市報・町報等も活用しながら広く周知を図って参ります。	無	地域づくり支援課
9	P. 33 生活地域を一体化する公共交通ネットワークの充実 (1)現状と課題	一般乗合バス路線の見直しは計画されないのでしょうか？ 利用者の要望を反映したバス路線としていただきたい。 両備バスは利用者を増やすために、住民に聞取調査を行い、バス路線の見直しを行うことで利用者数が増えたと聞いております。	「現状と課題」に記載しているとおり、現在のバス路線は一部非効率な路線があるものと考えています。 「取組の方針」に記載のとおり、乗降データを活用したバス路線の運行の効率化や利用者の移動ニーズに対応した多様な移動手段の導入を検討して参ります。	無	企画課
10	P. 36 地産地消の推進 (1)現状と課題	「地産地消の取組を推進する必要があります」について、地元で生産された野菜はどこで消費されているのか。現状を分析し、地元で消費されるように務める方策が望まれる。（例：給食での大量消費、高校生のお弁当の素材）	いただいたご意見のとおり地産地消の取組の推進は重要であり、(2)取組の方針に記載のとおり、圏域の生産者、事業者、消費者、行政、食に関する団体などの関係者が地産地消に関して共通認識を持った上で、それぞれがその役割を果たしつつ、相互に連携・共同して地産地消を推進していきたいと考えます。	無	農林課
11	P. 38 空き家バンクの連携等による移住の促進 (2)取組の方針	若者は使い勝手の良くない間取りの古い家よりも新築を望む傾向にあると考える。空き家（古い家）の魅力を伝える活動を加えてはどうでしょうか？ （近代工法の建物と比較して、寿命が長い、増改築が可能、災害時に修理ができるなど）	空き家バンクの情報につきましては電話やホームページ、見学時等にお伝えしており、その中で物件の特徴や魅力も併せてお伝えしているところです。 今後も若者をはじめより多くの人の住居として空き家が活用されるよう必要な取組を行いたいと思います。	無	しごと定住促進課
12	P. 42 未婚・晩婚化の解消への取組の推進	他市の議会において、婚活パーティなどの効果が認められないことから、予算削除された。 これまでの費用に似合う効果が認められたのでしょうか。	婚活パーティにつきましては、1市4町が連携して開催しているところです。 令和5年度の婚活イベントでのカップル成立率は48.5%とビジョンの目標値35%を上回る結果となり、一定の成果を得たところです。今後とも1市4町が連携しながら出会いの場の提供を行っていきたく考えます。	無	しごと定住促進課